

昭和六十二年度

## 修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- ・本集成は、昭和六十二年度に、京都国立博物館文化財保存修理所における文化財の修復時に確認された銘文等（納入品を含む）を収めたものである。
- ・配列は、彫刻・絵画・工芸に分け、それぞれの銘文の年代順とし、年紀のないものを後にまとめた。
- ・銘文の解読は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則としたが、比較的新しいものについては「」により改行を示したものがあつた。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解説、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が行い、それ以外は当館資料管理研究室が担当した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 不動明王坐像 長和三年 滋賀 園城寺
- 2 多聞天立像 永長二年 兵庫 大乘寺
- 3 地藏菩薩坐像 治承元年 静岡 瑞林寺
- 4 地藏菩薩坐像 建仁元年 滋賀 福明寺
- 5 十二神將立像 建永二年 奈良 興福寺
- 6 舞樂面 承元五年・延文五年 愛知 真清田神社
- 7 救世観音半跏像 寛元四年 京都 三千院
- 8 如意輪観音坐像 建治元年・寛永二年・天保十三年 奈良国立博物館
- 9 難陀龍王立像 正和三年・同五年・明応四年・同五年・同六年 奈良 長谷寺
- 10 毘沙門天立像 永享十年 長野 世尊院
- 11 赤精童子立像 天文五年・同六年・同七年 奈良 長谷寺
- 12 菩薩立像 寛永五年 奈良 東大寺
- 13 釈迦如来坐像 元禄四年・同五年 神奈川 寿福寺
- 14 勢至菩薩坐像 宝永二年 三重 光明寺
- 15 護法善神立像(無年紀) 滋賀 園城寺
- 16 地藏菩薩立像(無年紀) 奈良 東大寺
- 17 千手観音立像(無年紀) 福井 谷田寺
- 18 六座面(無年紀) 福岡 太宰府顕彰会

絵画

- 19 仏涅槃図 暦応三年・享保十一年 岐阜 正法寺
- 20 山王曼荼羅図 天正二年・寛永三年 奈良国立博物館
- 21 大閻秀吉像 慶長十年 滋賀 多賀大社
- 22 阿弥陀来迎図 元禄十年・慶応四年 滋賀 円常寺
- 23 蘭図 寛永十九年 群馬 長楽寺
- 24 刺繍当麻曼荼羅図 貞享二年 山形 浄徳寺

彫刻

1 不動明王坐像(図1) 重要文化財

滋賀 園城寺 一軀  
木造彩色 像高三九・三

〔像内背部墨書〕

長和三年

正月七日甲午

日始奉造

〔像内両足部(前から奥に)墨書〕

南無大聖

不動明王

〔底板上面(奥から前に)墨書〕

南無不動明王

必保給敬白

長和三年正月七日

甲午日始奉造願主

阿者利良海内供仏師僧

盛忠敬白現世後

生保給南無

不動明王

〔台座最下段裏墨書〕

本尊者弘法御作也 但御座下四重失墜之時仏子造之

①長和三年(一〇一四) ②(財)美術院 ④滋賀県大津市園城寺町  
⑤像内の墨書は一筆。台座墨書は修理銘。

2 多聞天立像(図2)

兵庫 大乘寺 一軀  
木造彩色 像高一三〇・八

〔像内背部墨書〕

上方に梵字十六字(図版参照)。その下に次の字句がある。

仏師大法師位智円者

永長二年丁丑十月廿四日 辰甲開眼供養

願主散位橘朝臣忠俊

各為息災延命造立供養之如件

①永長二年(一〇九七) ②(財)美術院 ④兵庫県城崎郡香住町

3 地藏菩薩坐像〔図3〕重要文化財

一 軀

静岡 瑞林寺

木造彩色 像高八四・八

〔像内両足部右方墨書〕

治承元年八月彼岸

中始之□□大仏師

法橋□慶但無上道

料并結縁也

結縁小仏等 有慶

明賢 勸西 □勢

□□宗慶 蔵□

経慶 □□

□□

〔像内頭部墨書〕

〔梵字十四行〕

〔像内胸腹部墨書〕

〔宝楼閣陀羅尼等梵字〔図版参照〕〕

〔像内左上膊部墨書〕

〔宝篋印陀羅尼真言〔図版参照〕〕

〔像内背部墨書〕

〔宝篋印陀羅尼梵字〔図版参照〕〕

〔像内両足部墨書〕

〔仏頂尊勝陀羅尼梵字〔図版参照〕〕

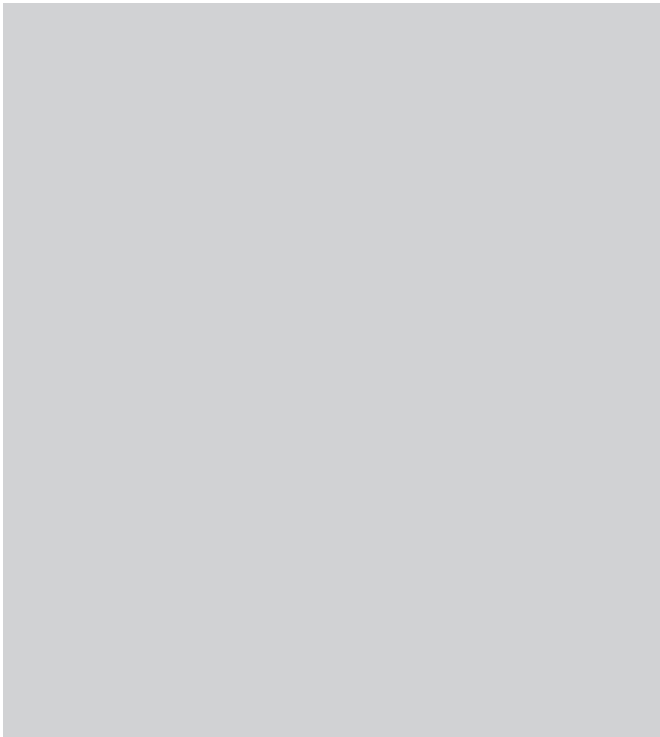
〔像内両足部左方墨書〕

源次成清

漆工藤原成重 守安

上野 □

入道有西



〔像内右膝奥部墨書〕



実

□仁<sup>(勢か)</sup>

尼西□□<sup>(案か念か)</sup>

義勝

①治承元年(一一七七) ②(財)美術院 ③佐藤昭夫「治承元年在銘の地藏菩薩坐像について」、『国華』一〇四一 昭和五十六年)、田中嗣人「治承元年在銘の瑞林寺地藏菩薩坐像——仏師康慶の事績によせて——」、『博物館学年報』一三 同志社大学博物館 昭和五十六年) ④静岡県富士市松岡四八九 ⑤像内両足部等の墨書は赤外線写真を参考にした。

4 地藏菩薩坐像(図4)

一 軀

滋賀 福明寺

木造彩色 像高一〇六・五

〔像内背部墨書〕

願主

僧永運 女山長氏<sup>(ま)</sup>

建仁元年<sup>(ま)</sup> 西<sup>(ま)</sup> 戈八月始之

〔像内両足部墨書〕

右志者還去四人尊靈

□□極楽□立如右

願以此功德普施於一切

我等与衆生皆共成仏道

①建仁元年(一一〇一) ②(財)美術院 ③宇野茂樹編『近江造像銘』(山本湖舟写真工芸部 昭和三十三年) ④滋賀県甲賀郡甲賀町

5 十二神将立像(図5) 国宝

四 軀

奈良 興福寺

木造彩色 像高一〇九・四—一二六・六

〔真達羅大将像右足柄内側墨書〕



〔摩虎羅大将像左足柄内側墨書〕

あ

□□<sup>(私か)</sup>

〔波夷羅大将像右足裏墨書〕

建永二年四月廿九日菜色了

〔同右足柄外側墨書〕

文殊師利大聖尊

三世諸仏以為母

十方如来初発心

皆是文殊教化力

〔為〕臨終正念往生

極樂為奉加菜

色之状如件

〔同右足柄底墨書〕

〔花押〕之菜色

〔冊底羅大將像左足柄外側墨書〕

〔花押〕

衆阿弥陀仏

〔花押〕

①建永二年（一二〇七）

②〔財〕美術院

③『奈良六大寺大観』八 興

福寺二（岩波書店

昭和四十五年）

④奈良県奈良市登大路町四八

⑤摩虎羅大將像、冊底羅大將像の銘文は赤外線写真を参考にした。

6 舞楽面（図6）重要文化財

愛知 真清田神社

各木造彩色

四面

陵王（縦三四・一）

〔裏面朱漆書〕

〔承和〕<sub>（五カ）</sub>年<sub>（辛未）</sub>歲<sub>（辛未）</sub>青陽天

調進之

御社□事之<sub>（外）</sub>

□

貴徳（縦二一・五）

〔裏面朱漆書〕

承元五年<sub>（辛未）</sub>歲<sub>（辛未）</sub>青陽天

調進之

御社神事之外不可

出他所

崑崙八仙（縦二〇・六）

〔裏面朱漆書〕

延文五年<sub>（庚子）</sub>子<sub>（庚子）</sub>沽洗調進之

新造勸進聖覚淳

童舞（天童 縦一八・七）

〔裏面朱漆書〕

承元五年<sup>義教</sup>青陽天

調進之

御社神事之外不可出他所

- ①承元五年（一二一一）、延文五年（一三六〇）
- ②（財）美術院
- ④ 愛知県一宮市大宮町一

7 救世観音半跏像（図7）重要文化財

一 軀  
京都 三千院  
木造漆箔 像高（坐高）三九・〇

〔像内納入紙本墨書造像願文〕

- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 南無救世観世音菩薩
- 奉造立所願条々事

一 彼虚名無実事靈夢之上説者已慥也任実□可被聞食披事可露  
 一 造寺以下御大事等如所存無相違可果逐事  
 一 造寺以下御大事等如所存無相違可果逐事

一 寿命長遠子孫繁昌家中安穩事

一 財宝豊而可成満諸人願事

一 可退咒咀怨霊事

已上条々如所願可成就円満之状如件

寛元四年十月廿日  
 正五位下行前備中守中原朝臣行範

- ①寛元四年（一二四六）
- ②（財）美術院・墨申堂
- ③佐々木正則「三千院救世観音像像内納入願文―願主中臣行範に対する疑義ならびに前備中守中原朝臣行範について―」（『仏教芸術』一四三 昭和五十七年）、解説版 新指定重要文化財」三 彫刻（毎日新聞社 昭和五十六年）
- ④京都府京都市左京区大原来迎院町

8 如意輪観音坐像（図8）

一 軀  
奈良国立博物館  
木造彩色 像高三一・七

〔像内納入摩訶般若波羅蜜多心經奥書〕

- 如意輪観自在尊建立之意趣者為
- 石堂支包 藤原氏女 僧幸信等福智円満
- 蔵薬蔵院興隆心中所願如々決定成就
- 以無乃至法為平等利益也

建治元年九月七日 乘信房（花押）

〔像内納入摩訶般若波羅蜜多心經奥書〕

金剛仏子行賢為順円房幸信之

福智成就心中所願一々円満受儀那  
之流所建立之也

〔像内納入骨片および円形紙片墨書〕

(挿図の中央は伽羅香)

〔像内納入卷子包紙墨書〕

此尊像損之間仰仏師再興之也

寛永二<sub>丑乙</sub>年十月廿日

入道二品親王良恕

〔像内納入伽羅香包紙墨書〕

如意觀世音菩薩老體并

宮殿奉修飾畢伽羅名香

老枚納御腹内是為虫除也

天保十三年壬寅六月十有三日

天台沙門無品親王讓仁識

①建治元年(一二七五)、寛永二年(一六二五)、天保十三年(一八四二) ②墨申堂 ④奈良県奈良市登大路町五〇 ⑤以上のほかに宝篋印陀羅尼經(一卷)、真言陀羅尼(一卷)が像内に納入されるが、奥書等はない。

9 難陀龍王立像(図9) 重要文化財

一 軀

奈良 長谷寺

木造彩色 像高一六七・七

像内納入品のうち主な年紀等のあるものについて記す。像内銘文は本誌十号参照。



〔舍利包紙墨書〕

生身仏舍利

三粒龍王之

御胸ノ中仁奉

納所也

〔朱書法華經卷第一奥書〕

正和三年五月十九日 書写之 承金（花押）

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

〔同卷第二奥書〕

正和三年五月廿日 書写之 承金（花押）

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

〔同卷第三奥書〕

正和三年五月廿一日 書写之 承金（花押）

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

〔同卷第四奥書〕

正和三年五月廿三日 書写之 承金（花押）

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

〔同卷第五奥書〕

正和三年五月廿三日 書写之 承金（花押）

南無法界衆生

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

〔同卷第六奥書〕

正和三年五月廿六日 書写之 承金（花押）

願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道

南無蓮阿弥陀仏 若□□靈

法界衆生平等利益南無阿弥陀仏

〔同卷第八奥書〕

正和三年五月廿六日

六十六部内所助筆也

執筆秀円（花押）

〔慶祐願文奥書〕

明応六年正月八日有職二藤灑水師山本坊五師慶祐四十二才

〔木札墨書〕

（表）

奉刻彫八大龍王尊像施主□当寺多門院住持盛円為

滅罪生善報謝奉造立者也依此善巧方便之功德而三界万靈

十方至□之群類聖み同令成正覺而已干時大仏師備後守定慶

〽

子長松弟子千代寿次郎四郎絵師吉久子鶴磨玄空行順善春玄順

道教妙忍智慶祐阿道善助次道円良珍祐阿道門浄泉心教道光

祖父祖母道円妙永道阿妙性干時明応五丙辰十二月十三日作之盛

円敬白観

六 (裏) (発字(漢字)) 観書之

〔諸経并諸准頂明奥書〕

□ (正)和五年 (辰)九月廿八日金剛仏子雲海

□ 奉書写悉地成就也

〔願文奥書〕

□ (願抄)明応五年正月吉日

妙善 (侍) (向)七世父母

□

〔結縁交名奥書〕

明応六年丁正月十三日善智 (敬)

〔木札墨書〕

(表)

善春 浄盛 道見 了阿弥 少貳 浄禅

玄空 周紋 賢情 竟舜 (寛) 千代松 祐順

行順 玄順 円阿弥 智阿弥 銚屋夫妻筆

(裏)

宗幸 慶舜 西阿弥 雲弘 恵観 長音 春光

宗意 長恩 南栖 五郎殿 願勝本尊勸進衆

慶宗 永俊 六郎太 (郎) 賢円 妙通明応丁正月十三日

以下は十一面観音摺仏(紙背結縁交名)三卷中二卷をあらたに開卷して発見された、摺仏・奉加帳等四卷三冊二十九通十二枚のうちの主な年紀等である。

〔奉加紙(1)―17(整理番号)奥書〕

明応 (五)年十月 (廿)

〔結縁交名(1)―19奥書〕

明応五年 (丙) 十

〔結縁交名(1)―20奥書〕

明応 (五)年二月 (廿)

〔結縁交名(1)―35頭書〕

□ 明応四年 (卯) 四月十四日 此ヲハ□□

- ① 正和三・五年(一三一四・一三一六)、明応四・五・六年(一四九五・一四九六・一四九七)
- ② (株)岡墨光堂
- ③ 長谷川誠「資料 長谷寺本尊随侍像体内納入品」(『研究論集』I 奈良国立文化財研究所学報第二一冊 昭和四十七年)、『解説版 新指定重要文化財』三彫刻(毎日新聞社 昭和五十六年)、『昭和六十一年度 修復文化財関係銘文集成』(『学叢』一〇 京都国立博物館 昭和六十三年)
- ④ 奈良県桜井市大字初瀬七三一一

10 毘沙門天立像

一 軀

長野 世尊院

木造彩色 像高七九・七

〔像内頭部矧面墨書〕

□

□建立

□

永享十年五月□日

仏□願□

11 赤精童子立像 重要文化財

一 軀

奈良 長谷寺

木造彩色 像高一六六・〇

像内納入品のうち主な年紀等のあるものを記す。像内銘文は本誌十号参照。

〔2〕〈整理番号〉結縁交名端裏書〕

長心<sup>十二月</sup><sub>廿六日</sub> 天文六年敬□

〔11〕結縁交名書出〕

天文六年  
三月廿一日 トリノトシ

〔29〕奉加紙奥書〕

<sup>〔天文五年丙申か〕</sup>  
丙申壬十月三日 □□ (花押)

〔32〕天文七年海咩等願文〕

天文七年三月廿日海咩 (花押) 白敬

〔同紙背〕

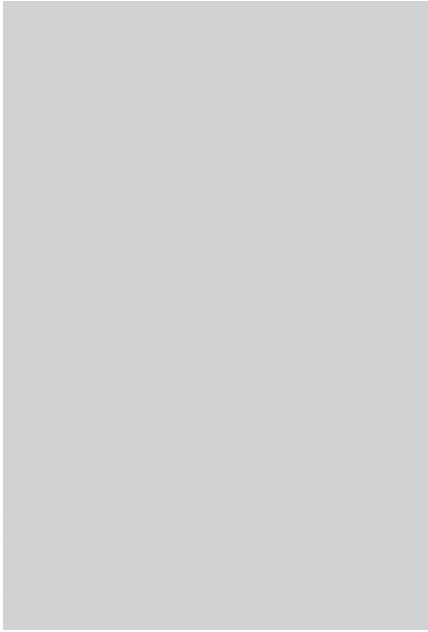
天文七年五月六日

宗舜 (花押)

〔33〕天文七年三月海咩願文奥書〕

天文七年三月廿日 □海咩 (花押) 白敬

〔34〕天文七年三月海咩願文奥書〕



- 五 ①永享十年(一四三八)
- ②(財)美術院
- ④長野県長野市元善町四七

天文七年三月廿日 □□□□ 海畔（花押） 白敬

〔48〕願文奥書

天文七年卯月廿九日

〔木札墨書〕

（表）

大仏師運宗 海運 明信 丹後 且馬

赤精童子執行秋山新介殿 遠江守殿 藤□殿

本願音海 藤宮 堯盛 長清

（裏）

天文六年丁十二月廿八日

以下は像内胸部に貼り付いた状態であらたに発見された願文一通、光明真言并結縁交名等一通のうちの主な年紀等である。

〔願文奥書〕

天文七年三月願満足日

- ①天文五・六・七年（一五三六・一五三七・一五三八）
- ②（株）岡墨光堂
- ③長谷川誠「資料 長谷寺本尊随侍像体内納入品」（『研究論集』I 奈良国立文化財研究所学報第二一冊 昭和四十七年）、『解説版 新指定重要文化財』三 彫刻（毎日新聞社 昭和五十六年）、『昭和六十一年度 修復文化財関係銘文集成』（『学叢』一〇 京都国立博物館 昭和六十三年）
- ④奈良県桜井市大字初瀬七三一―一

12 菩薩立像（中性院安置） 重要文化財

一 軀

奈良 東大寺

木造漆箔 像高一〇二・四

〔台座裏面朱漆書〕

寛永五年 辰戌秋時正後光台令新造

備逆修二十五年随一作善奉祈

開悟得脱上生内院者也

〔子〕時別会五師

尊慶得業敬白

- ①寛永五年（一六二八）
- ②（財）美術院
- ④奈良県奈良市雑司町四〇

六一―

13 釈迦如来坐像

一 軀

神奈川 寿福寺

脱活乾漆造漆箔 像高二九二・九

〔頭部の髻との接合部墨書〕

元禄五／申ノ年／四月八日／出来

〔像内頭頂部墨書〕

重造宮／本師釈迦文仏／元禄五年／龜谷山寿福□

〔玉眼留め木内側墨書〕

再興／元禄四<sup>辛未</sup>年／仏舍利六粒／鼻頭納所門／三粒願主／道鑑

〔鼻部内納入舍利包紙墨書〕

頼朝公所持之／仏舍利有因縁／納之

〔像内体部地付束墨書〕

釈迦再興布□内三返外式返之／□寺 元禄四<sup>辛未</sup>四月吉日取

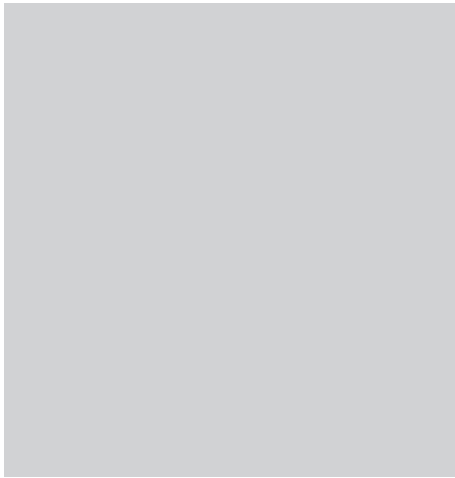
付申／□□仕舞

相州鎌倉扇谷中／仏師／拾人也□

〔玉眼留め木の支柱墨書〕

法輪常転

仏月増輝



- ①元禄四・五年（一六九一、一六九二） ②（財）美術院 ③三山進編  
『鎌倉地方造像関係資料』第三集（鎌倉市教育委員会 昭和四十五年）  
④神奈川県鎌倉市扇ヶ谷一丁目一七番地七

14 勢至菩薩坐像

一 軀

三重 光明寺  
木造漆箔 像高七五・三

先日者御出早々仕合  
御残多存候 然ハ

護摩壇積書

厨子再興書付

以上三通髓請取

申候折節他所ニ

罷在早々返事

〔台座下框内側墨書〕

古靈／哲州／湛堂／祖薫

……………(切断)

- ①宝永二年(一七〇五)
- ②(財)美術院
- ④三重県伊勢市岩渕三―三

かしく

白井式部卿

六月廿六日

15 護法善神立像 重要文化財

一 軀

滋賀 園城寺

木造彩色 像高一五九・五

善教様  
宗如様

(その二 後欠)

町飛脚ニ而申入候弥

御無事ニ候哉承度存候

然者爰元玉□院と

申方ら頼申度細工

御座候間御下り給候

様ニ申され候急用ニ而

〔台座正面格狭間裏板押え紙墨書〕  
(その一)

申之見事之

真桑一頭被懸御意

御状可拝見如仰

忝奉存候以上

御座候間此書状相届  
次第御下り待入存候  
爰元へ昼おまへ二御

(その三 後欠)

尚々先日者善教老江も

不得御意候御留主之内御馳

走忝存候亘敷御心得可被下候

以上

御状致拜見候先以

一昨日者参緩々懸御目

御馳走ニ罷成忝存候

然者小護法様之

②(財)美術院 ④滋賀県大津市園城寺町 ⑤台座は江戸時代の補作。これらの押え紙は、補作時に書状が転用されたものである。

16 地藏菩薩立像 (知足院旧蔵) 重要文化財

一 軀

奈良 東大寺

木造漆箔及び彩色 像高九七・四

〔像内納入愛染明王摺仏摺書〕

(右下) 三十万人内

(左下) 大和国釜口

〔右前膊と袖外側との間につめた紙片墨書〕

晦日

明<sup>後か</sup>□

□<sup>十七か</sup>□果□

②(財)美術院 ③『奈良六大寺大観』第十一卷 東大寺三(岩波書店昭和四十七年) ④奈良県奈良市雜司町四〇六一 ⑤納入摺仏は一体一版、縦二四・八cm、横七・九cm。四〇―四五枚を一束としてまとめられ、二七束、計一二九九枚と断片九枚、白紙紙片一枚が納められていた。うち一二枚を像から取り出して別保存し、他は包紙に包み像内に納めた。

17 千手観音立像(図10) 重要文化財

一 軀  
福井 谷田寺  
木造素地 一部彩色 像高一七九・四

〔像内胸部墨書〕

(梵 字)

〔像内納入千手観音摺仏墨書〕

一体一版の千手観音立像を摺写した摺仏多数が発見された。ほとんど固着し、虫蝕が甚しいが、展開できたものうち六〇枚の右上に、「卅三」から「九十一」まで、及び「百廿七」の数字を一枚に一番号ずつ墨書したものがあつた。また、うち七枚の右下に、一枚に一名ずつ、次の人名の墨書があつた。「百人」<sup>光か</sup>「間人友」<sup>光か</sup>「三嶋則宗」<sup>光か</sup>「紀貞宗」<sup>光か</sup>「間人景光」<sup>光か</sup>「僧弁祐」<sup>光か</sup>「海重貞」<sup>光か</sup>

②(財)美術院 ③文化庁文化財保護部「新指定の文化財」(『月刊文化財』二七三 昭和六十一年) ④福井県小浜市谷田部二四―四 ⑤納入摺仏は二束にわかれて固着し、縦一八・五cm、横一三・四cm、厚さはそれぞれ八・五cm、六・五cm。現状のまま包紙につつみ、像内に旧状のように納めた。

18 六座面(図11)

五面  
福岡 太宰府顕彰会  
木造彩色 高さ(悪尉)一九・〇

(若い男)二〇・一  
(若い女(1))二〇・一  
(若い女(2))二〇・七  
(鬼神)二〇・七

〔悪尉裏面刻書・墨書〕

赤子大夫(刻書)

天竹<sup>意</sup>□太□(墨書)

〔若い男裏面墨書〕

日本<sup>意</sup>□太夫

(花押)

〔若い女(1)裏面墨書〕



□□

〔若い女(2) 裏面墨書〕

□□  
(六巻)

松本金大夫

〔鬼神裏面墨書〕

□□  
(三巻)  
□□  
(末巻)  
□□

②(財)美術院 ③『古面』(京都国立博物館 昭和五十七年) ④福岡県筑紫郡太宰府町大字太宰府

### 絵画

19 仏涅槃図(図12) 岐阜県指定文化財

一幅

岐阜 正法寺

絹本着色 縦一七七・二 横一四九・二

〔表装背面貼紙墨書〕

勢州一志郡瀧口河観音寺 奉図絵涅槃一服 寺僧 僧寂尊 僧  
静雲 僧慶尊 僧覚尊 大願主比丘尼良阿弥陀仏 曆応三年  
辰庚

五月十五日

〔軸木墨書〕

享保十一年午五月吉日

京 二条御城内御用司御表具所 表具師竹内伊兵衛(花押)

①曆応三年(一三四〇)、享保十一年(一二二六) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④岐阜県岐阜市小野五九八ノ一

20 山王曼荼羅図

一幅

奈良国立博物館

絹本着色 縦二二一・一 横六六・八

〔表装背面墨書〕

文安四年甲子卯月日書之 自西塔西谷相伝之 天正二年戊甲十月十九日修幅裏付畢

開眼師法印長瑜 七十五歳  
日輪院

寛永三(別巻)天求之 法印山海 内供奉

①天正二年(一五七四)、寛永三年(一六二六) ②(株)宇佐美松鶴堂 ③『奈良国立博物館蔵品図版目録 絵画篇』(昭和六十三年) ④奈良市登大路町五十

21 太閤秀吉像

一幅

滋賀 多賀大社

絹本着色 縦一〇二・五 横五五・二

〔軸木墨書〕

此表具御城宮内へ御詔被成候間請取候而仕立候

于時慶長拾曆<sub>乙</sub>式月三日堺南半町奈良屋慶親(花押)

表紙屋

〔表装背面墨書〕

慶応四<sub>戊辰</sub>天初秋日

為慈光院殿善登茂心大姉御菩提 寄附之

奉修覆

三尊仏

元禄拾年式月吉日

中川氏

彦城

円常精舎十八世

伸誉上人代

- ①慶長十年(一六〇五) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④滋賀県犬上郡多賀町多賀
- ⑤昭和十一年修理銘がある。

22 阿弥陀来迎図 彦根市指定文化財

一幅

滋賀 円常寺

絹本着色 縦七九・〇 横三八・二

〔表装背面墨書〕

恵心僧都筆

①元禄十年(一六九七)、慶応四年(一八六八) ②(株)岡墨光堂 ④  
滋賀県彦根市城町二丁目四一六二

23 蘭図 雪窓筆 群馬県指定文化財

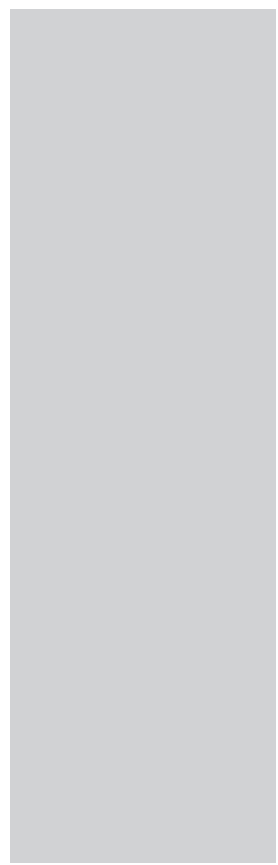
紙本墨画 縦二二五・五 横三五・五  
群馬 長楽寺 一幅

〔表装背面貼紙墨書〕

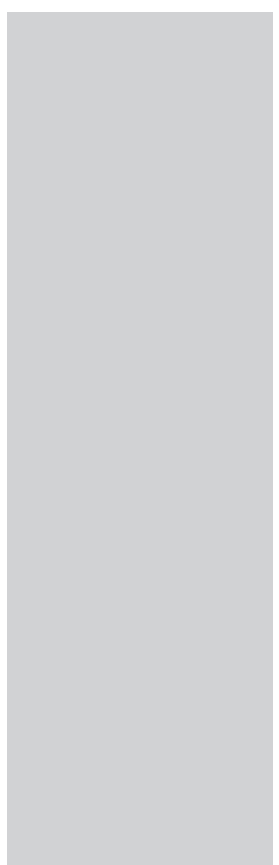
上野州良田山長楽寺常什  
山門三院執行兼長楽住持探題大僧正天海  
寛永拾九年<sup>壬午</sup>載八月日 目代晃海修復訖

〔表装背面墨書〕

弘化二<sup>乙巳</sup>歳三月修復之  
当山五十三世  
慈雲院権僧正周道代



①寛永十九年(一六四二)、弘化二年(一八四五) ②(株)岡墨光堂  
④群馬県新田郡尾島町世良田



工芸

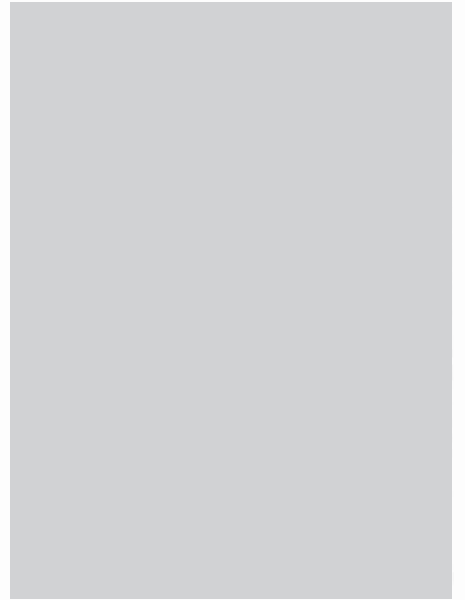
24 刺繍当麻曼荼羅図 山形県指定文化財

刺繍 縦二〇四・〇 横一七二・〇  
山形 浄徳寺 一幅

〔軸木墨書〕

貞享三<sup>うし</sup>年<sup>うし</sup>八月廿五日  
武州江戸通油所表具師長兵衛

①貞享二年(一六八五) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④山形県酒田市中心  
東町四ノ六二

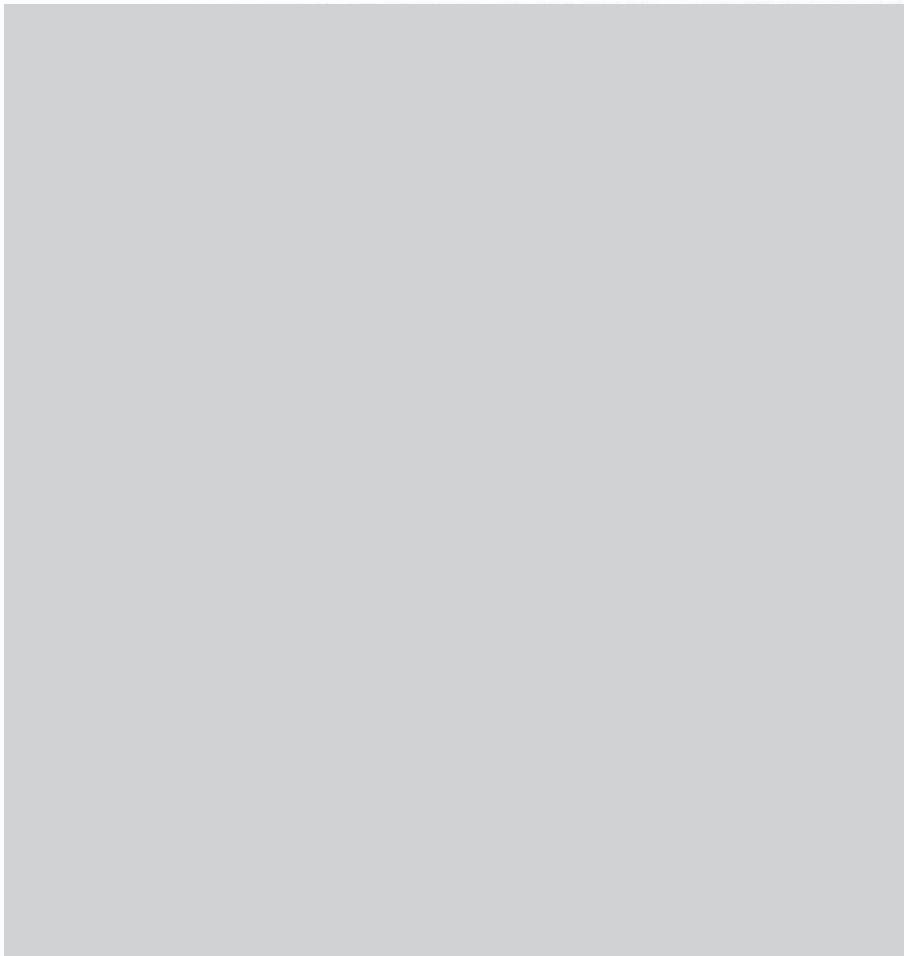


(底板上面)

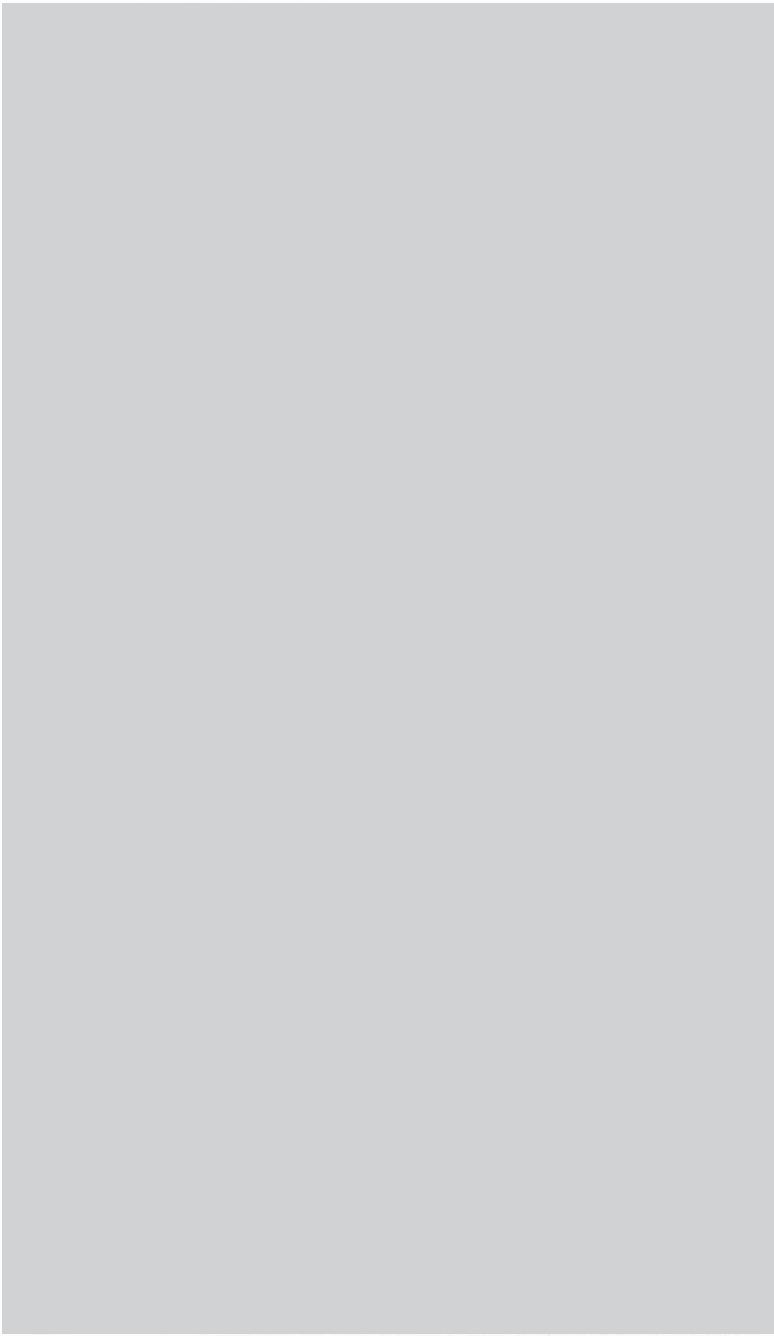
1 不動明王坐像 園城寺



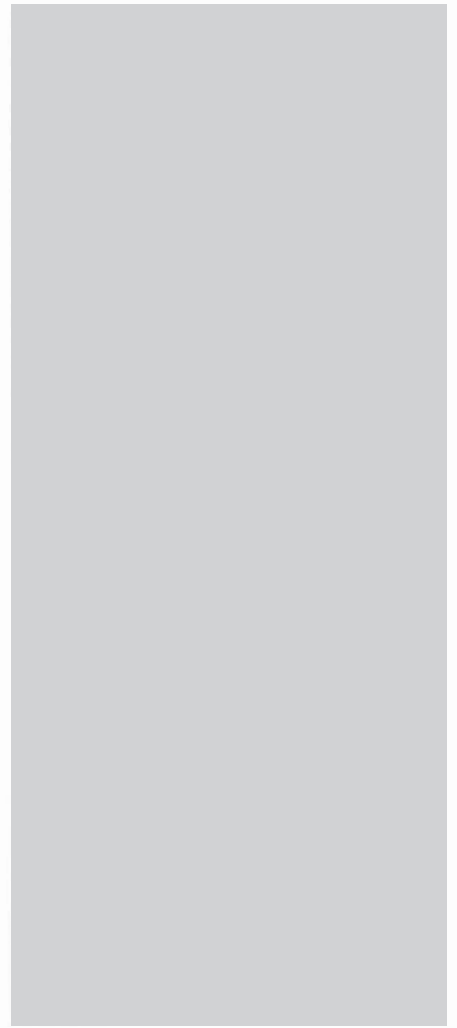
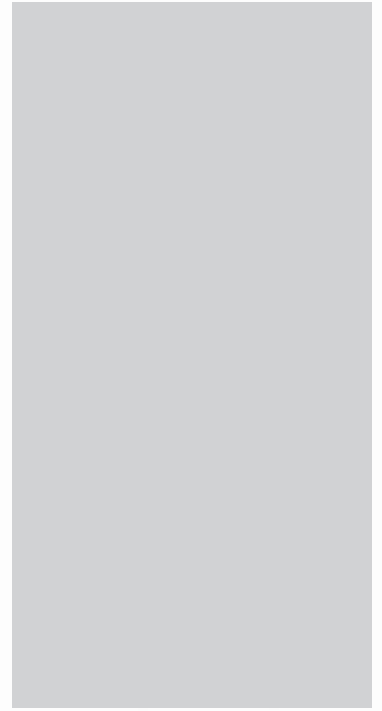
(像内背部)



(像内両足部)

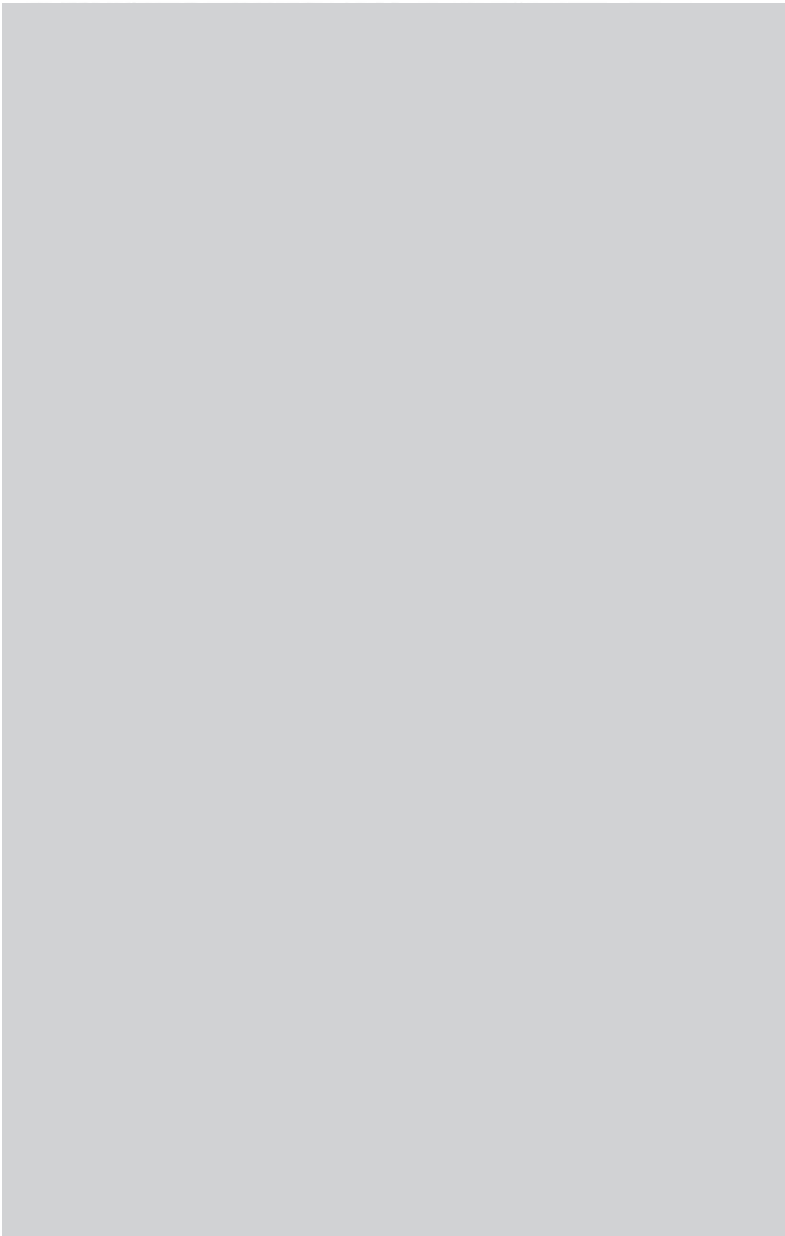
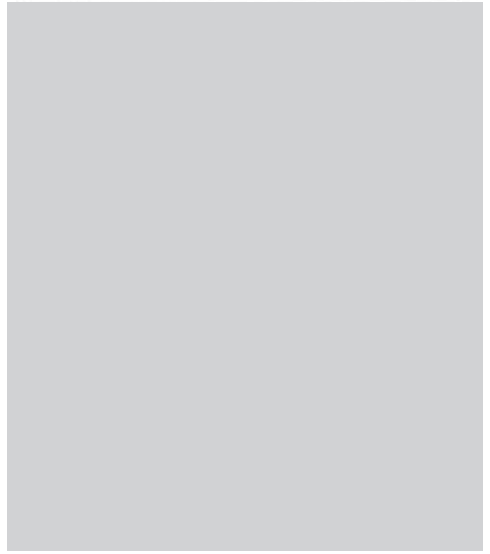


(像内背部)



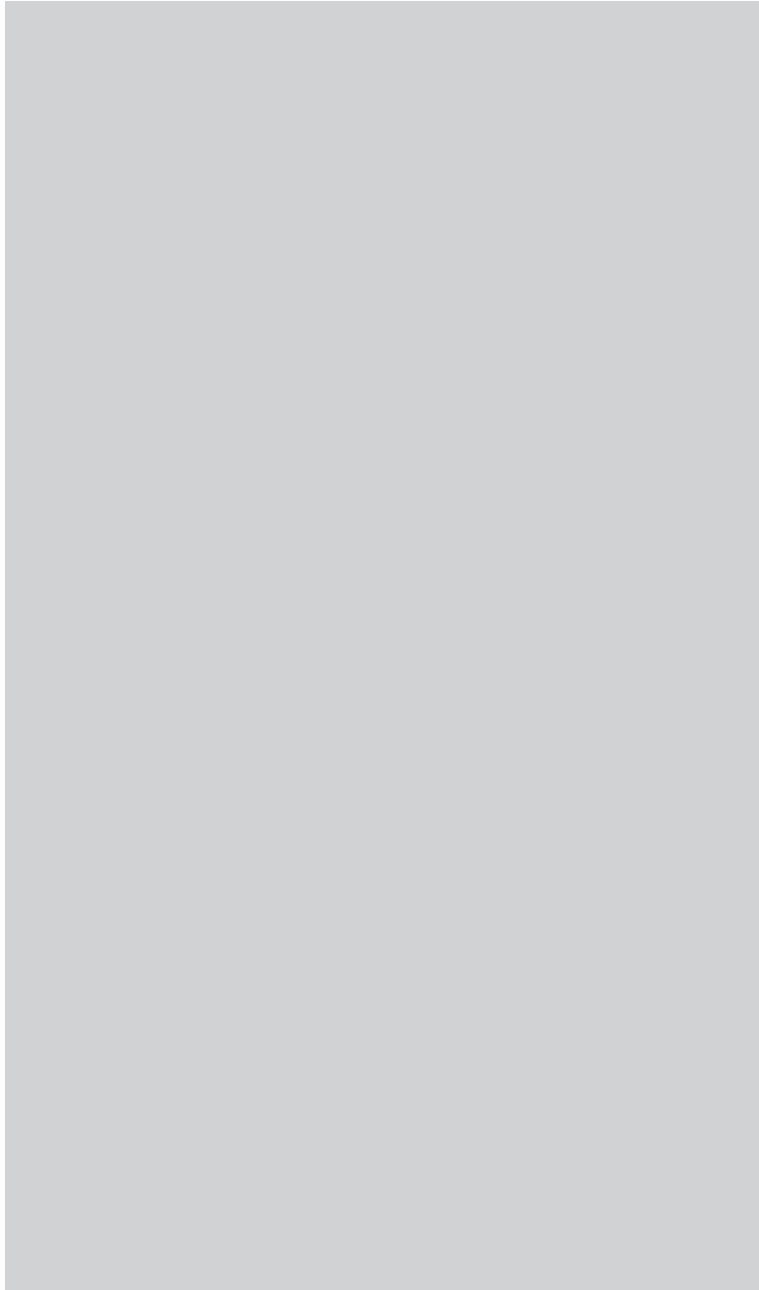
(像内背部)

2 多聞天立像 大乘寺

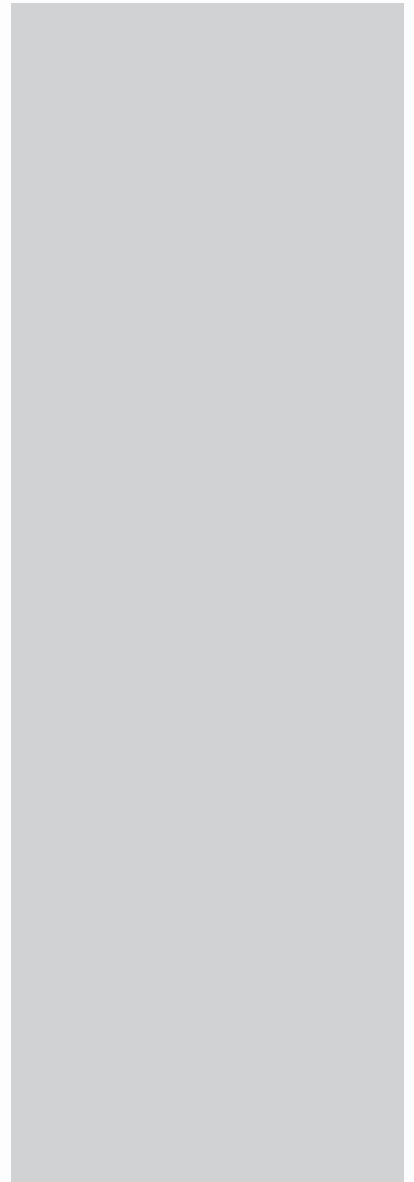


(像内胸腹部)

3 地藏菩薩坐像 瑞林寺



(像内背部)

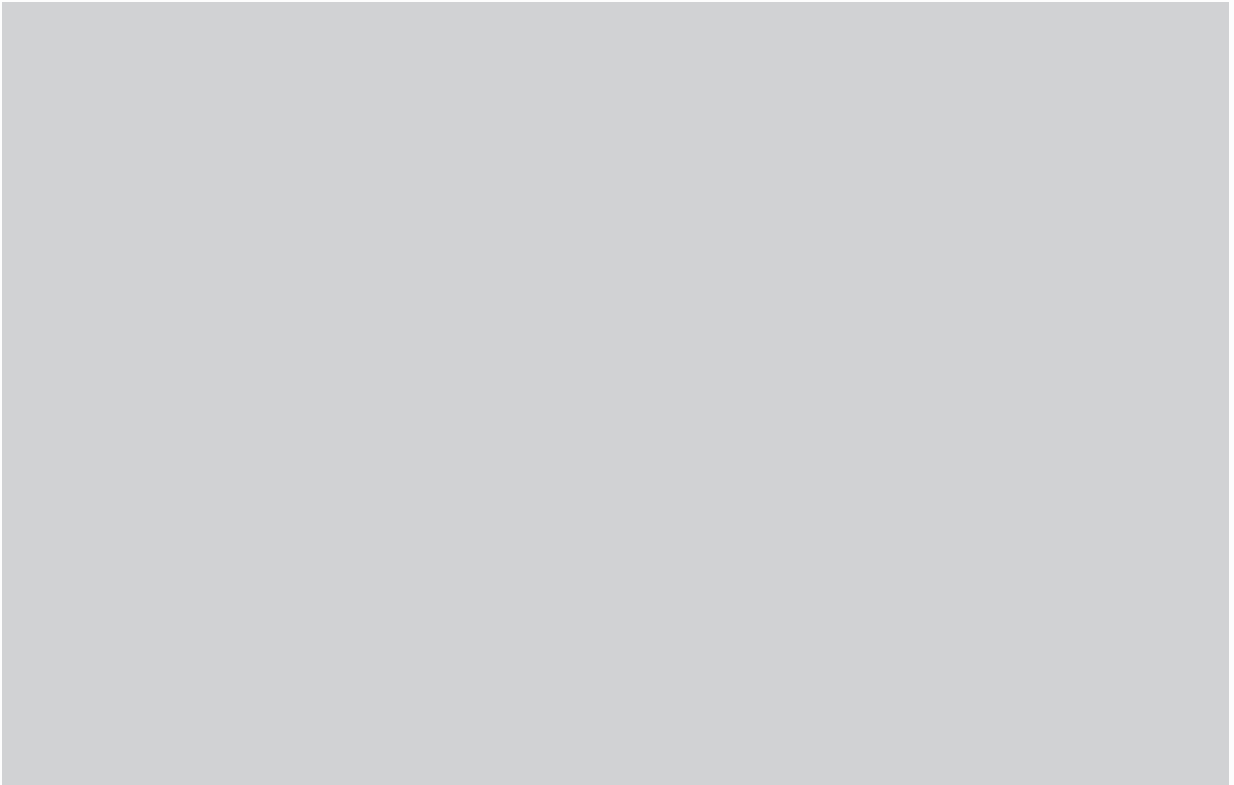


(像内左上胸部)

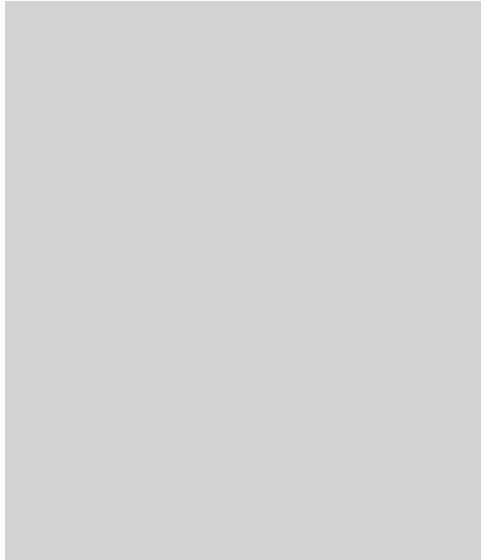
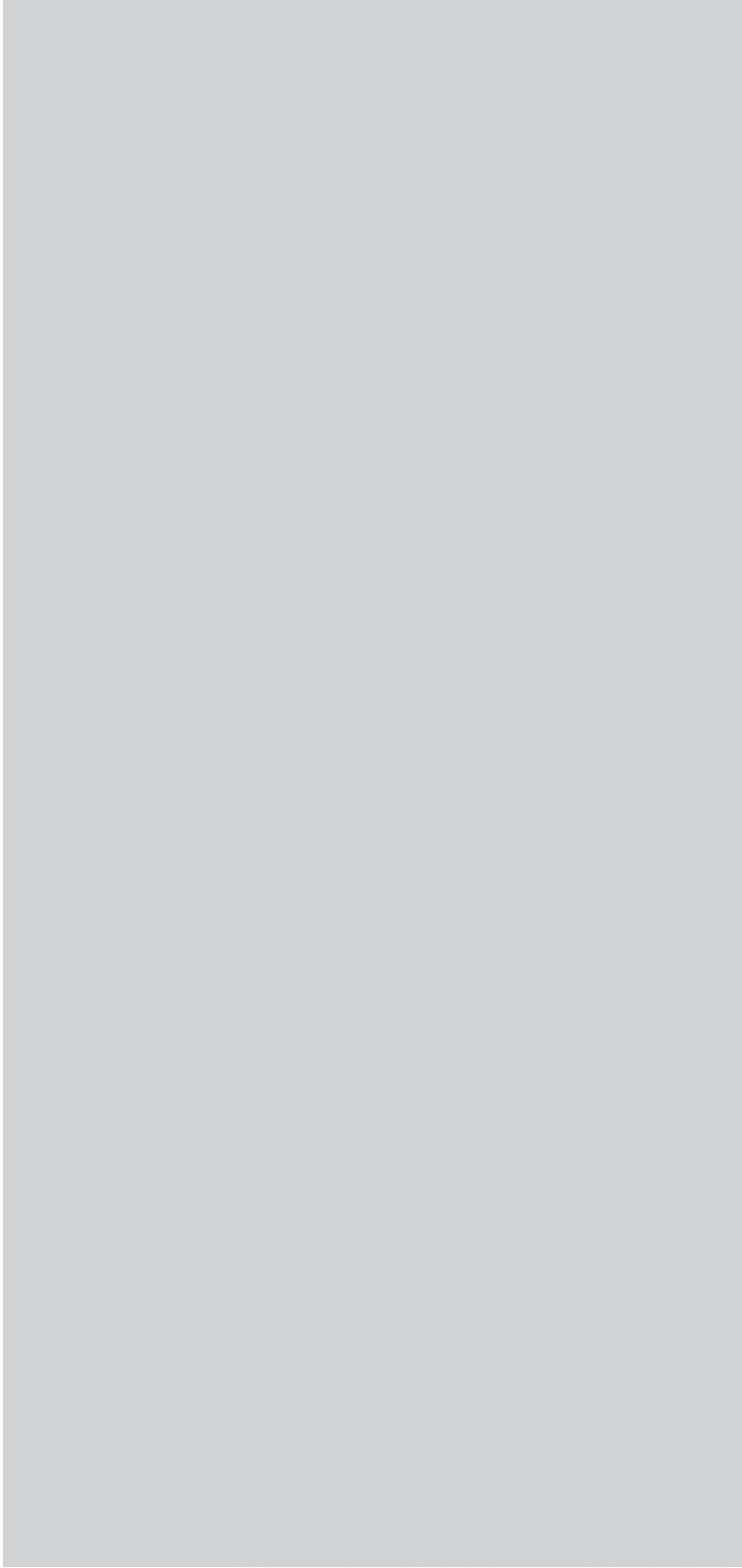




(像内両足部右方)

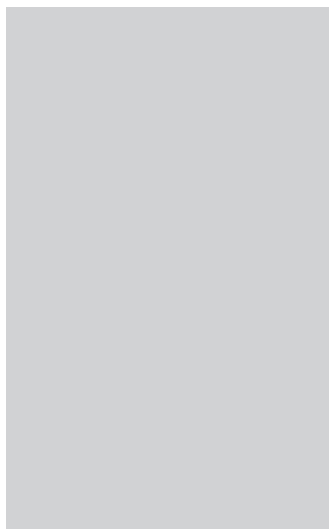
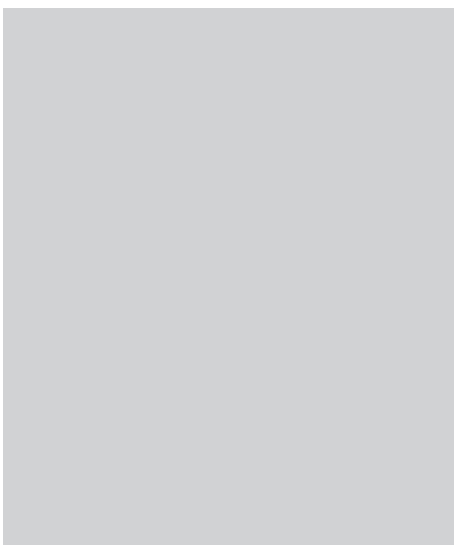
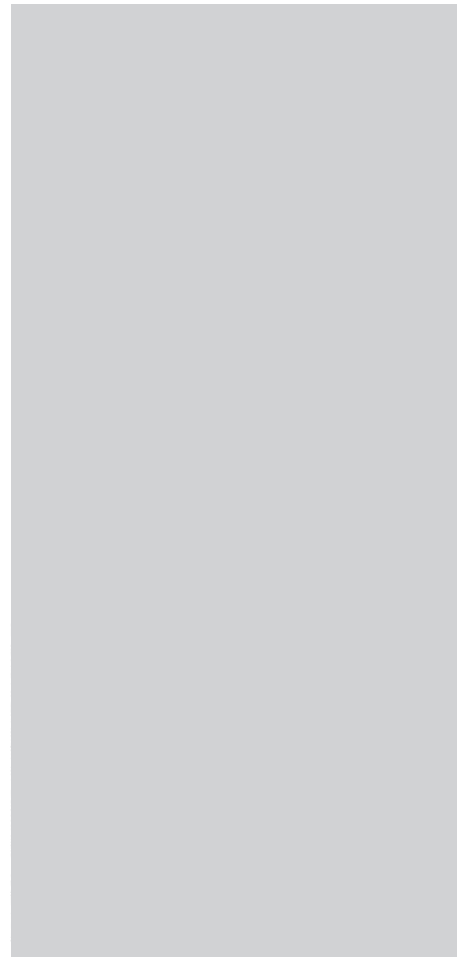
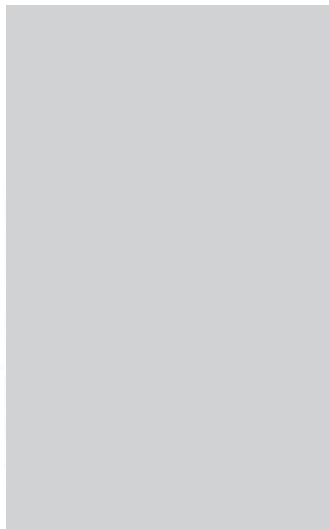
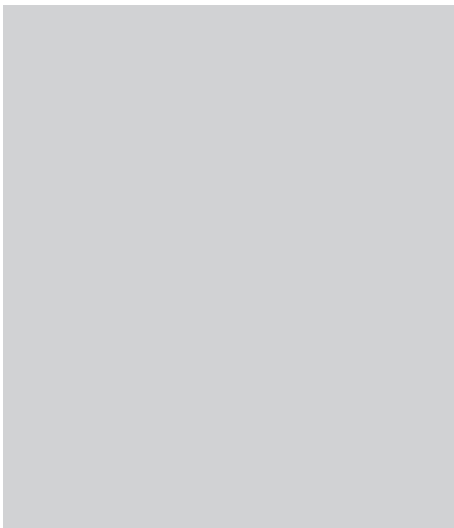
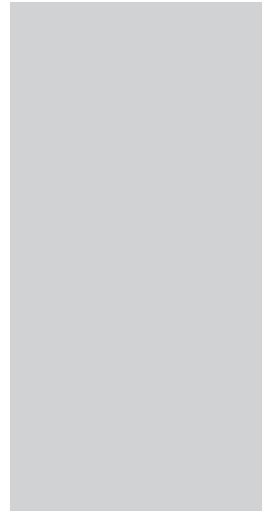


(像内両足部左方)

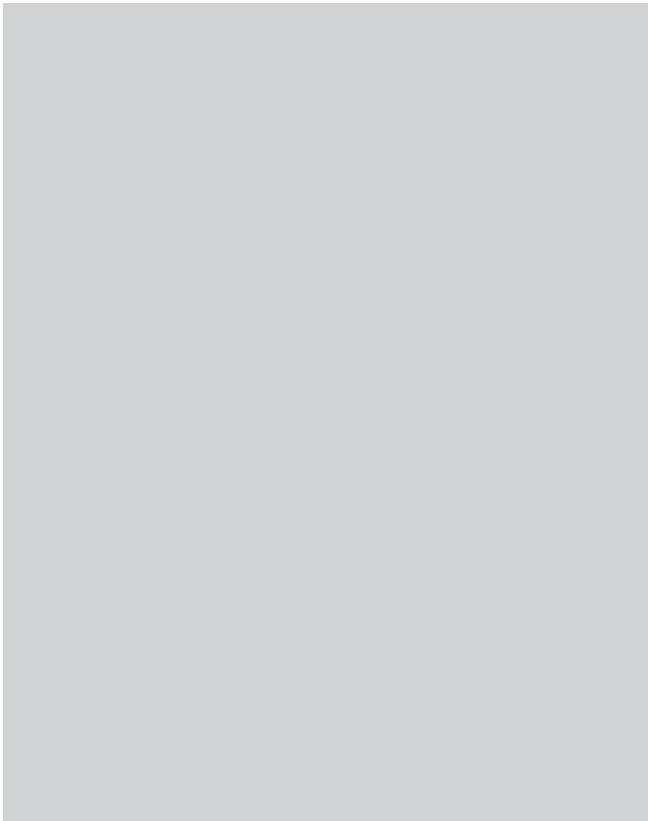


(像内兩足部)

4 地藏菩薩立像 福明寺



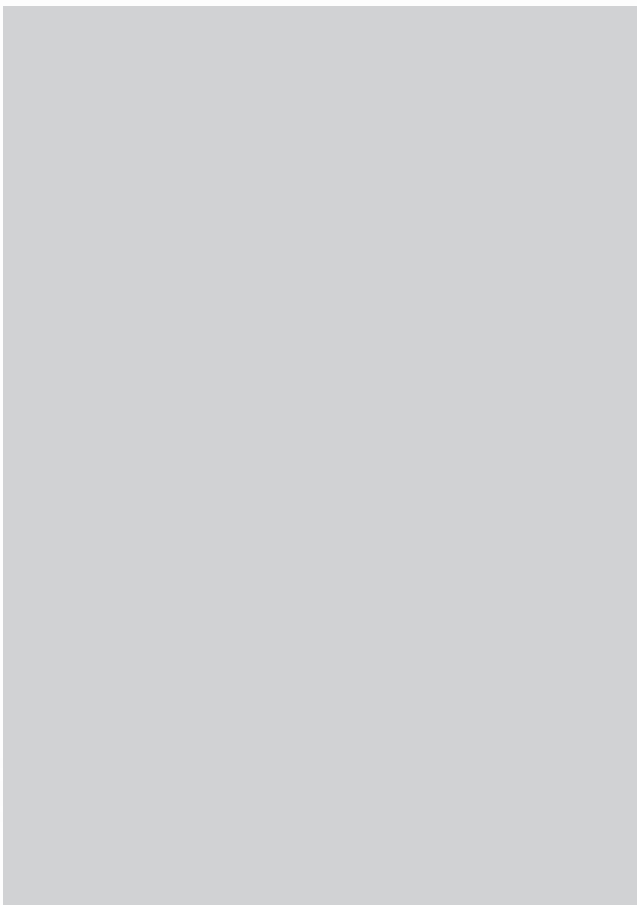
5 十二神将立像 興福寺



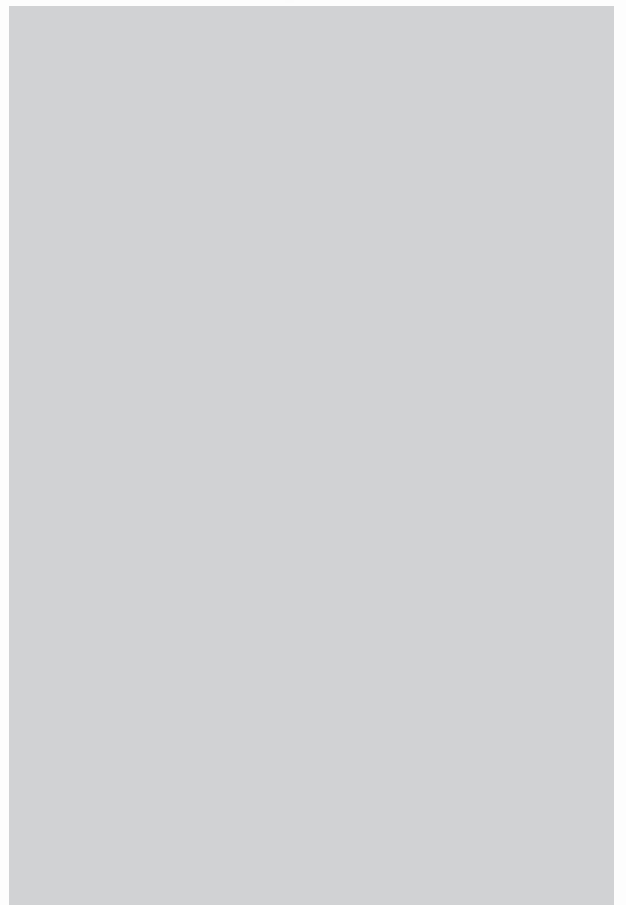
(貴徳裏面)



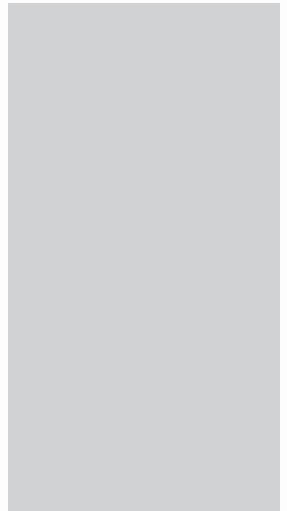
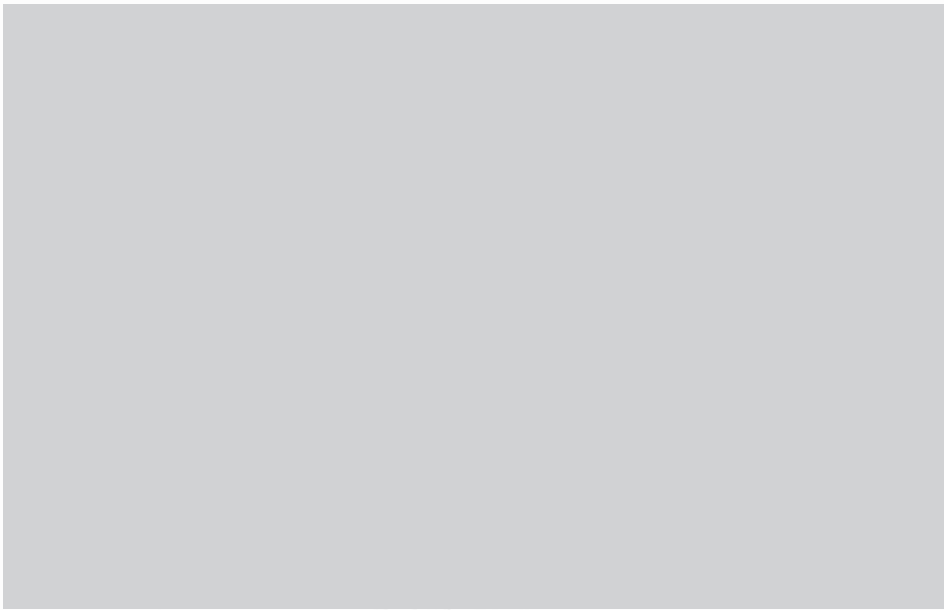
(陵王裏面)



(童舞裏面)

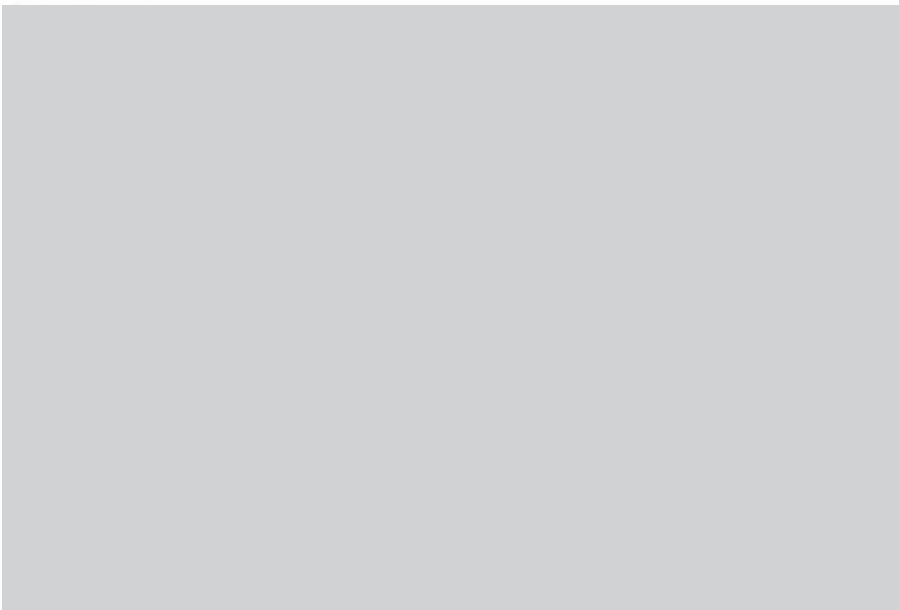
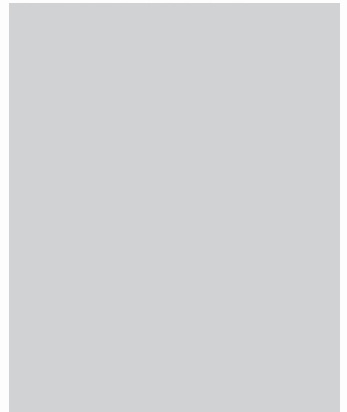


(崑崙八仙裏面)



(像内納入造像願文)

7 救世観音半伽像 三千院



(像内納入摩訶般若波羅蜜多心經)

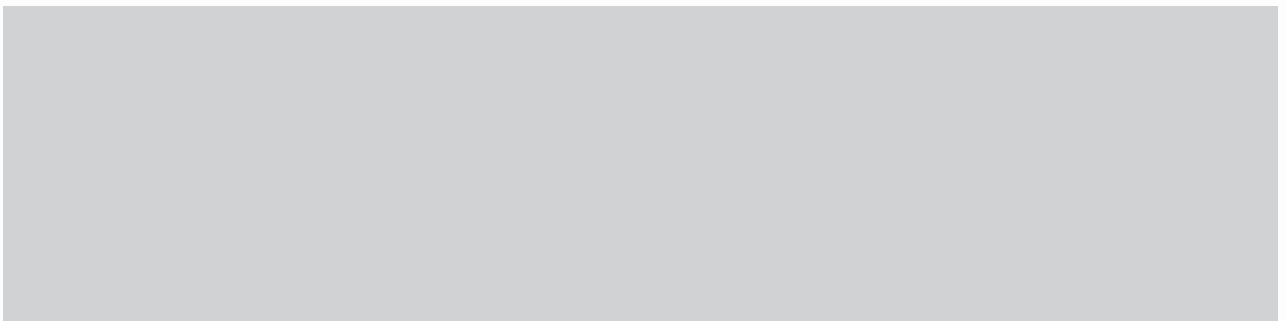
8 如意輪観音坐像 奈良国立博物館



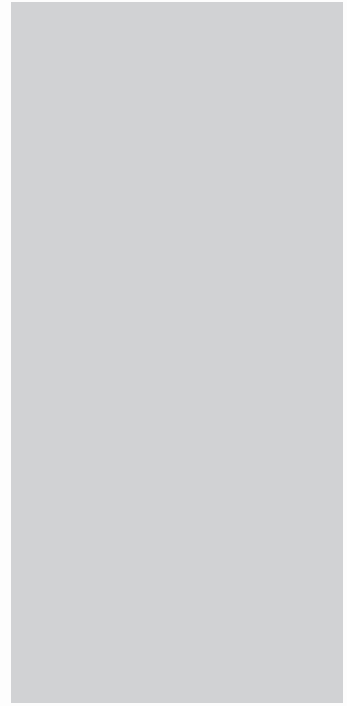
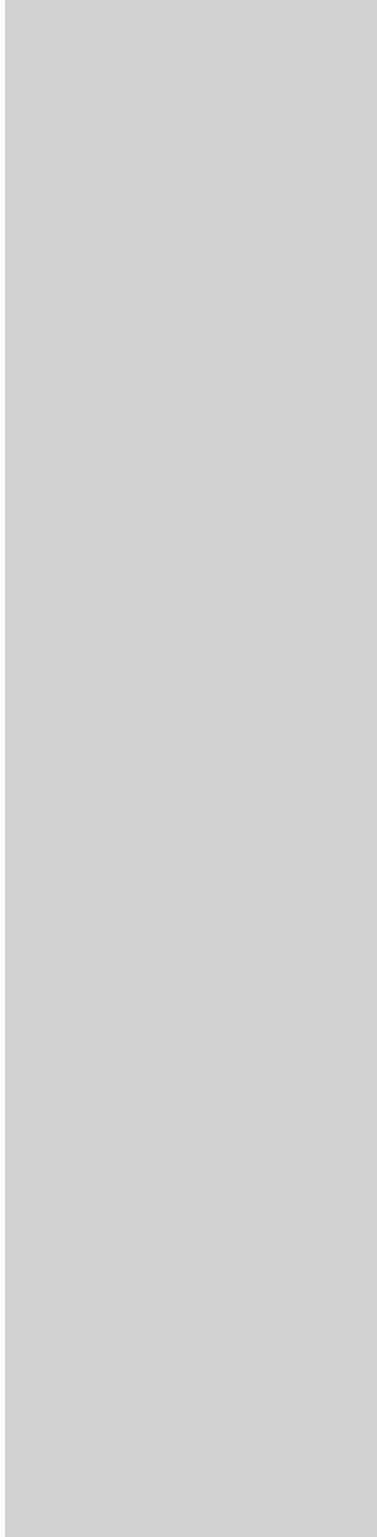
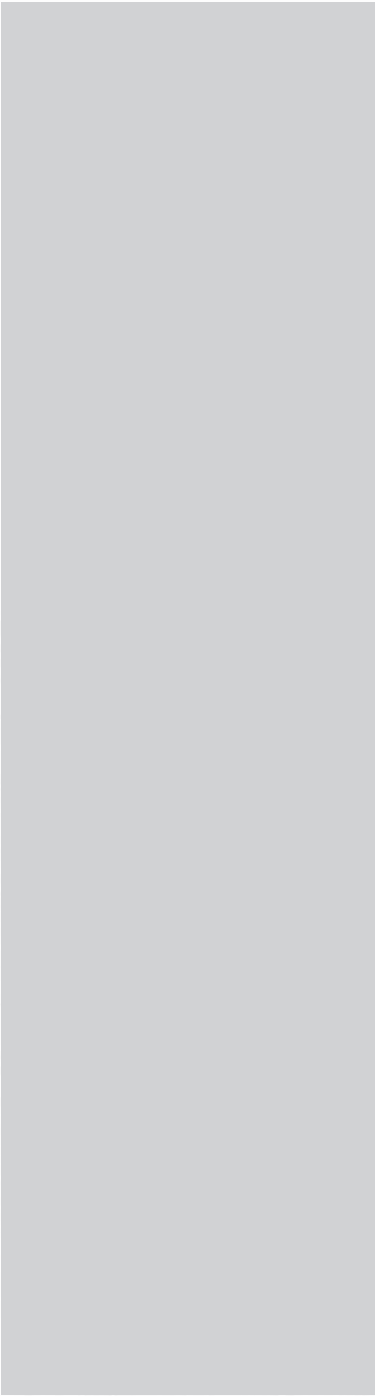
(像內納入摩訶般若波羅蜜多心經)



(像內納入寶篋印陀羅尼經)

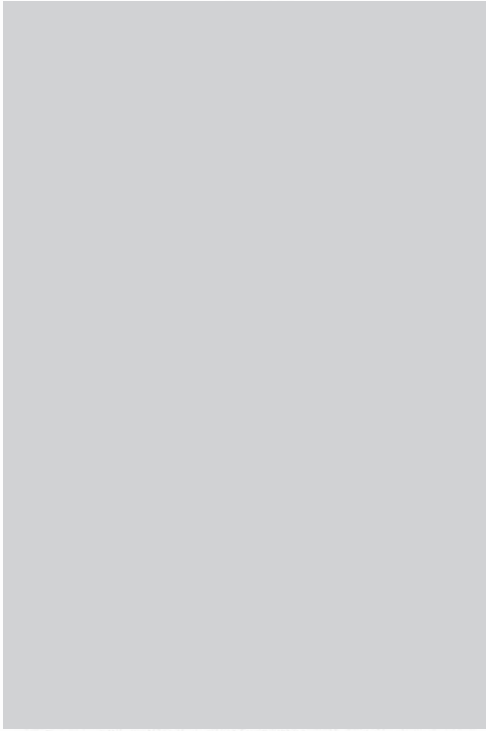


(像內納入真言陀羅尼)

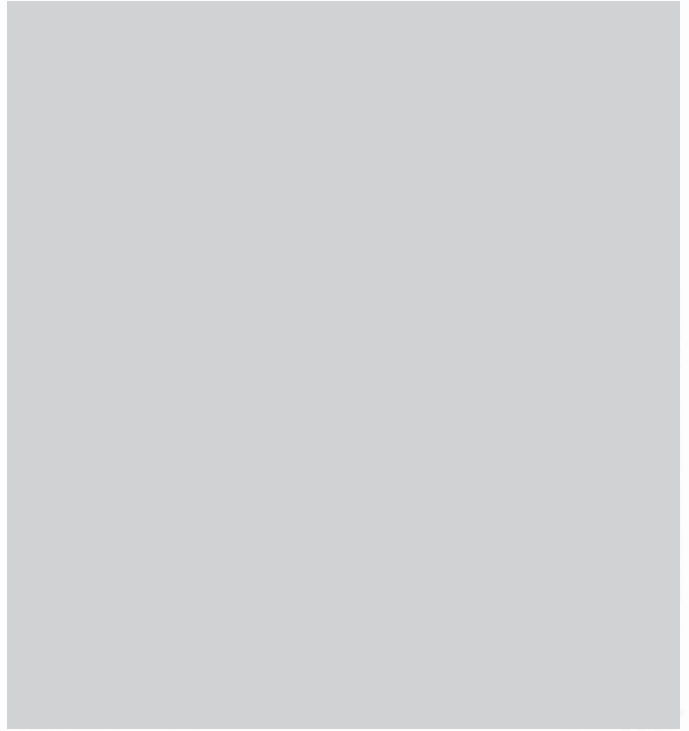


(像内納入木札)

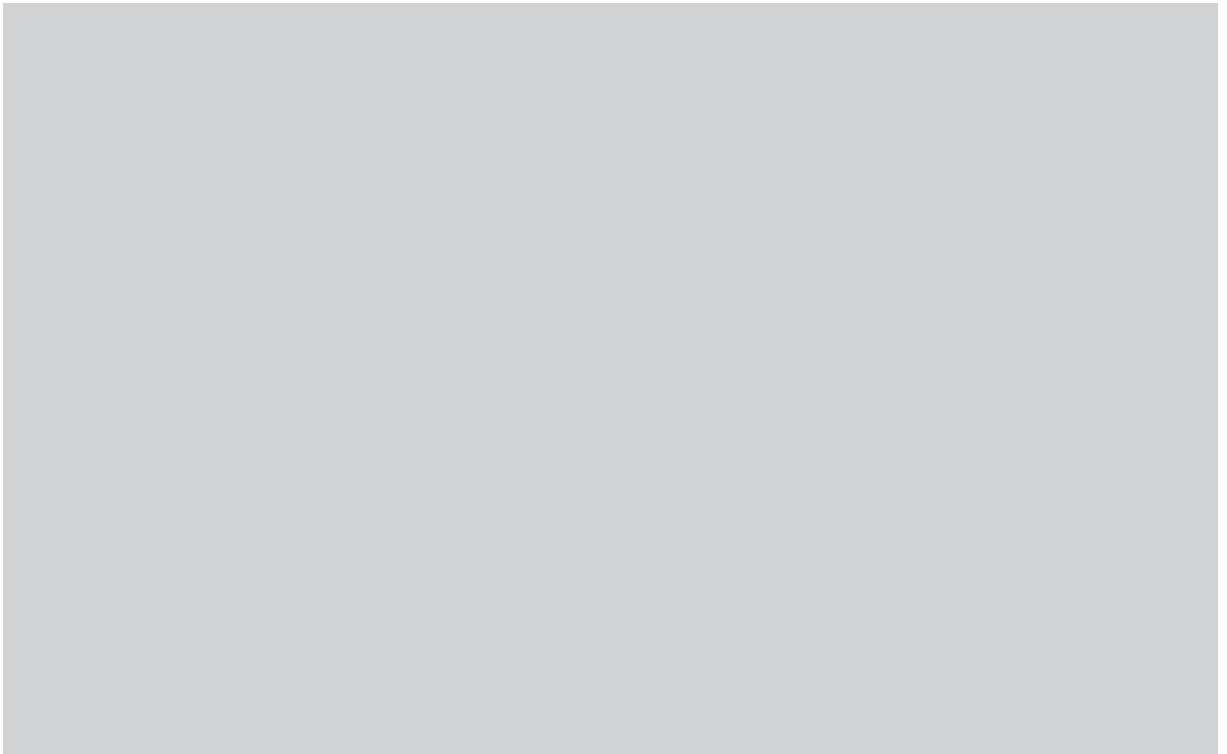
9 難陀龍王立像 長谷寺



(像内納入木札)

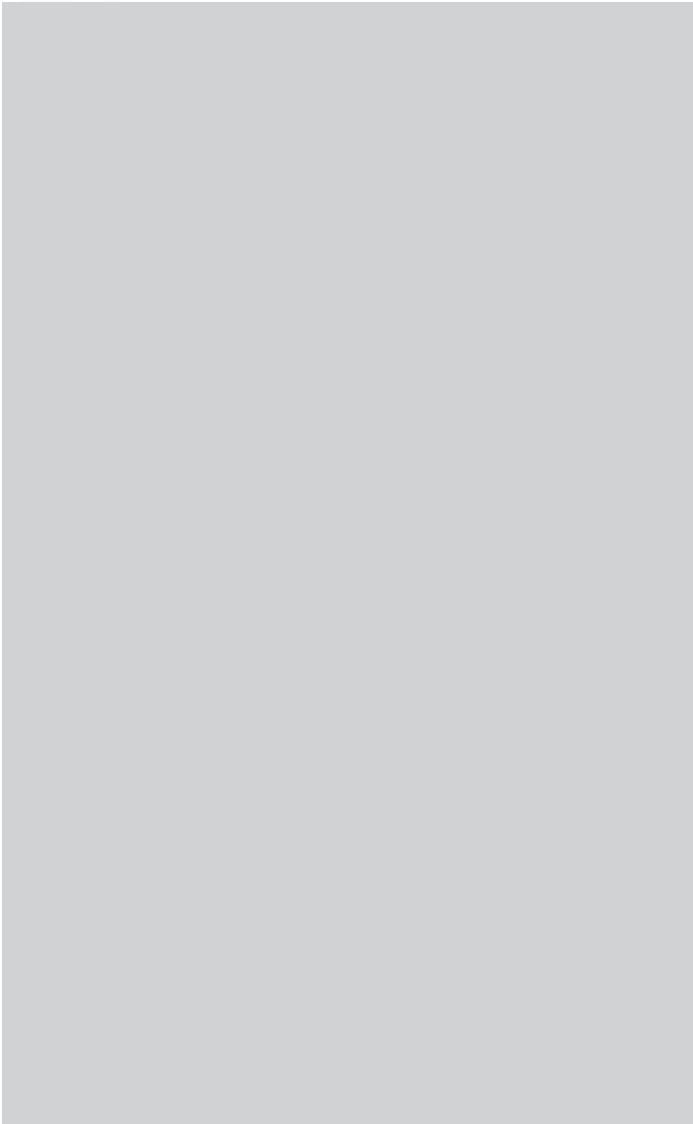


(像内納入木札)

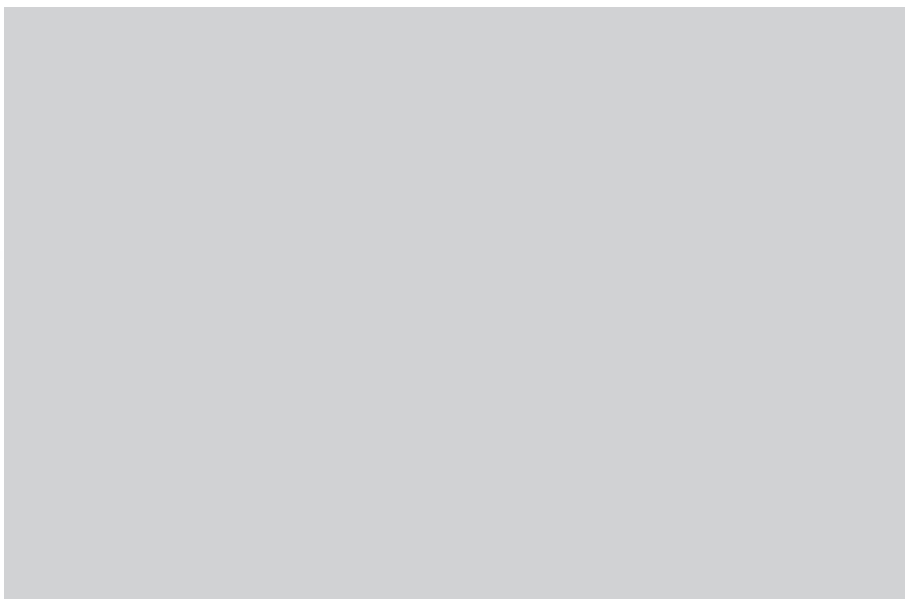
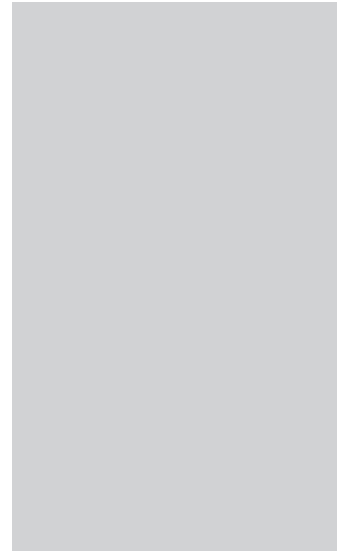


(像内納入願文)



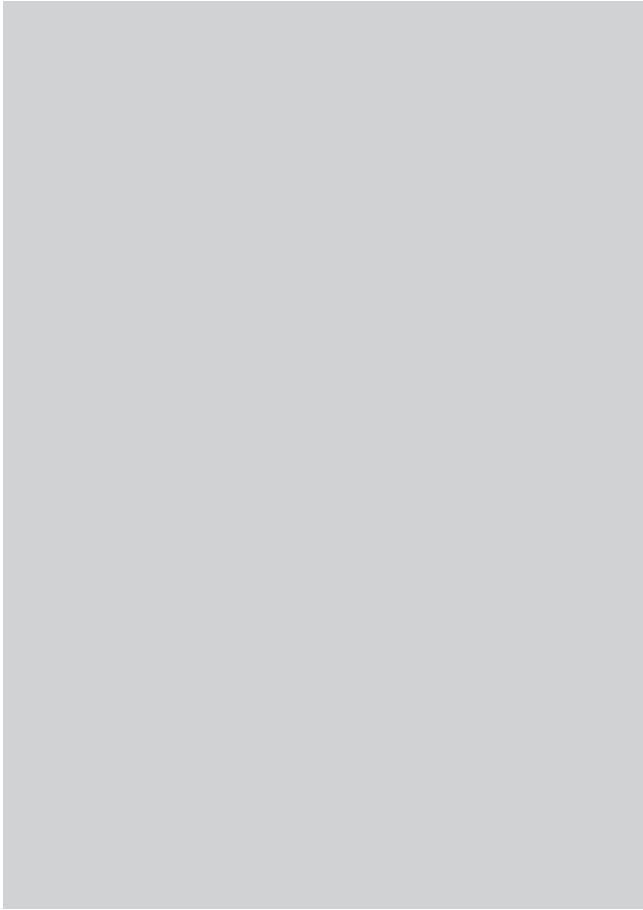


(像内納入摺仏)

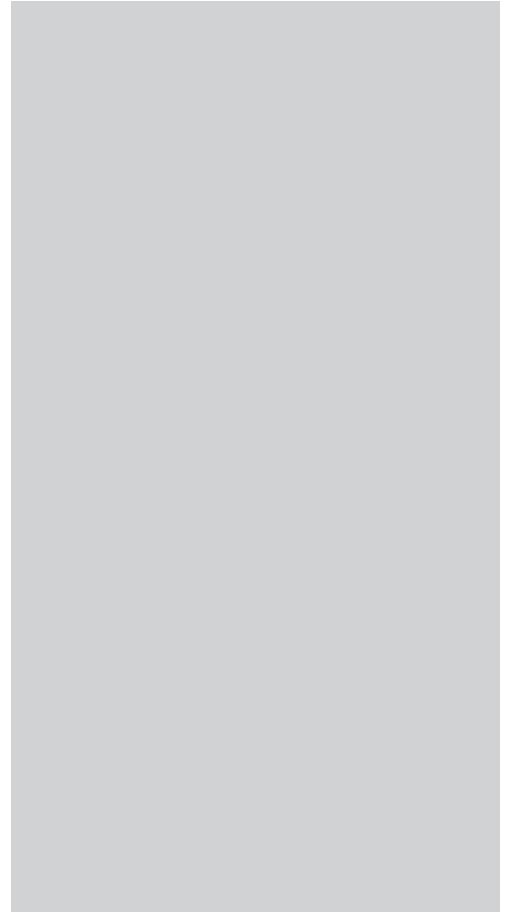


(像内納入摺仏)

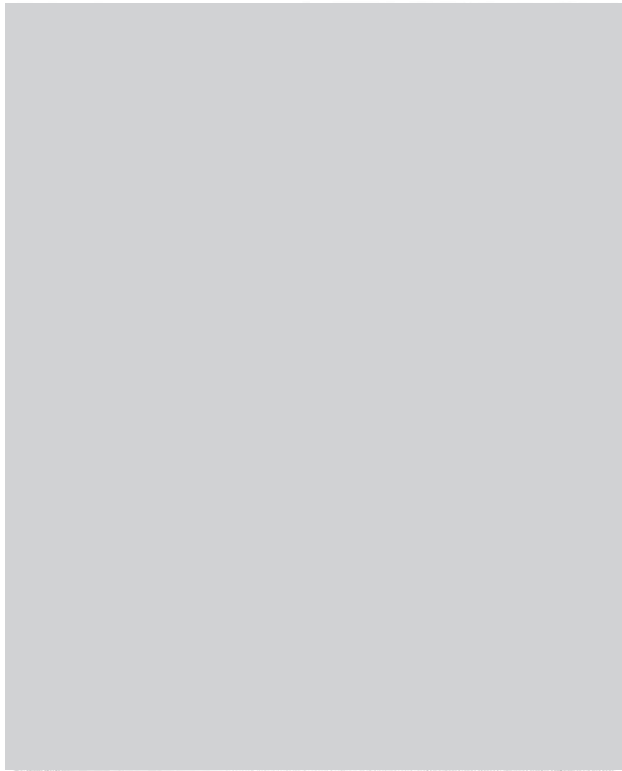
10 千手観音立像 谷田寺



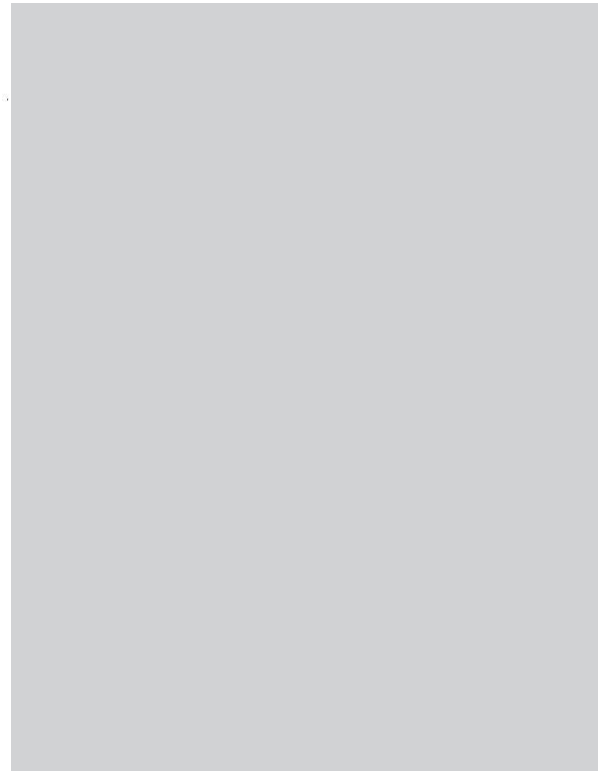
(若い男裏面)



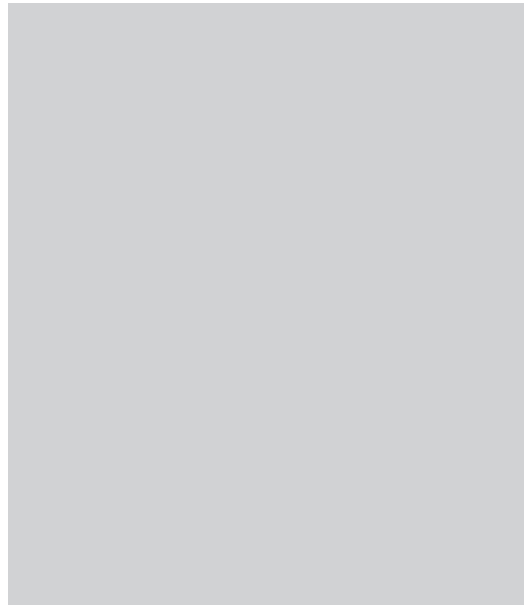
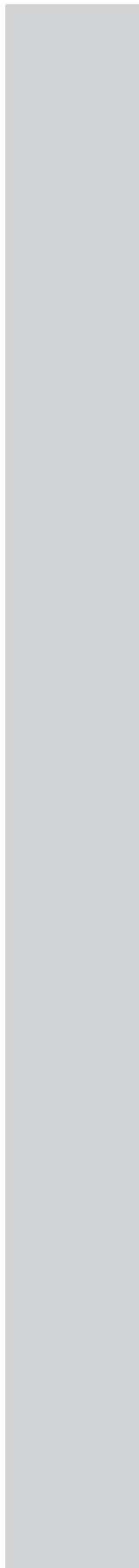
(悪尉裏面)



(若い女(2)裏面)



(若い女(1)裏面)



(表装、背面貼紙)